

令和7年度神戸市防災会議（第2回）

日 時：令和8年2月26日（木）14：00～15：00

場 所：神戸市役所1号館14階 大会議室

次 第

1. 開 会

2. 会長（市長）挨拶

3. 議 題

（1）報 告

令和7年度神戸市防災会議（第1回）議事要旨と意見照会書の結果 【資料1】

（2）議 事

① 神戸市災害対策総点検を受けた進捗 【資料2】

② 令和7年度神戸市地域防災計画・水防計画の修正 【資料3】

③ 有識者による専門部会の設置 【資料4】

（3）その他

令和8年度のスケジュール

神戸市防災会議（第1回）：令和8年秋頃

（第2回）：令和9年2月頃

* 部会については、適宜開催

4. 閉 会

令和7年度神戸市防災会議（第1回）議事要旨と意見照会書の結果

1. 開催概要

- (1) 日 時：令和7年9月29日（月） 14：00～15：00
- (2) 場 所：神戸市役所1号館14階 大会議室
- (3) 出席者：全53名（市長、小松副市長、黒田副市長、委員50名）
- (4) 内 容：（報告）神戸市災害対策総点検の振り返り
（議事）女性部会開催報告
イタリア視察報告
神戸市災害対策総点検を受けた進捗
神戸市地域防災計画の修正

2. 議事要旨

(1) 神戸市災害対策総点検を受けた進捗について

○災害関連死の防止に向けた避難所の環境改善について

- ・ 避難所は体育館を使用するという発想を転換すべき。生活するために設計や建築されていない施設利用には限界がある。
- ・ ホテル・旅館、県市の公営住宅、企業の社宅などの積極的な活用を視野に入れ検討を進めるべき。被災者全員に対しては難しくとも、災害関連死のリスクが高い方に、これらの生活環境が整っている施設へ優先的に入ってもらおうとよい。

○地域における避難所開設・運営の取組み

- ・ 地域で訓練実施をする仕方が分かるマニュアルの作成をしてほしい。
- ・ 行政、学校、地域での合同訓練を、定期的（年1回など）に実施してほしい。

○防災福祉コミュニティの担当窓口について

- ・ 現状では、区、消防、危機管理などと、所管窓口が異なる。地域防災の取組は、地域活動の一環だと思うので、区役所に窓口を集約し、総合窓口をつくってほしい。

○防災士資格取得補助制度について

- ・ 防コミ等の地域団体からの推薦が、制度利用の要件となっているが、地域団体へ属さない市民の資格取得を促せるような手続きの流れも検討すべき。

○専門ボランティアの活用について

- ・ 災害時に避難所運営にあたっていただけるような専門ボランティアを本市で養成してはどうか。

(2) その他

女性部会開催報告、イタリア視察報告、地域防災計画の修正については意見なし

3. 意見照会書等でのご意見

○ボランティアの活用について

- ・ 専門ボランティアの登録は大変良い。一般ボランティアについても合わせて検討していくことも必要だと思う。
- ・ 看護職は、災害支援ナースの養成や、厚労省への登録制度があり、災害発生時には厚労省等を通じ、各都道府県看護協会が派遣調整する全国システムがある。県内では519名が養成・登録されている。

様々な課題

《激甚化、頻発化する豪雨災害》

《発生が危惧される南海トラフ地震》

- 地域防災の担い手不足
- 地域コミュニティの希薄化
- 限られたリソース（人員、資機材等）
- 震災経験職員の減少
- 求められるきめ細かな被災者対応

人口減少社会に適応する防災のあり方

- ✓ 地域防災への新たな支援の導入
- ✓ 外部人材の積極的活用
- ✓ 新たな被災者支援の仕組みの構築 等

先進技術を取入れた更なる安全・安心

- ✓ 新たなテクノロジーの積極的活用
- ✓ 防災DXの推進
- ✓ 他都市先進事例等の調査・導入
- ✓ 専門機関との連携（東大、防災科研等） 等

被災しても元の生活へすみやかに戻れる、対応力・復元力のある都市の実現

～災害に強い「レジリエントな都市」を目指して～

神戸市災害対策総点検の5つの柱と15項目の取組み

市の初動・応急体制の強化	<ol style="list-style-type: none">1. 職員参集・動員及び避難情報にかかる諸制度の見直し2. 市職員退職者、外部人材等の効果的な活用3. 区の防災体制の強化
安心・健康に過ごせる 避難所づくり	<ol style="list-style-type: none">4. 地域防災の取組みへの効果的な支援5. 避難所の迅速な開設と円滑な運営6. 避難所の良好な居住環境等の確保7. 避難者情報の効果的な把握と適切な対応
被災者支援・要援護者対策 の推進	<ol style="list-style-type: none">8. 災害ケースマネジメントの仕組みの構築9. 市保健医療福祉調整本部による迅速かつ効果的な支援10. 災害時要援護者の整理と支援の一層の推進11. 福祉避難所の機能強化
備蓄物資の確保と適切な 維持管理	<ol style="list-style-type: none">12. 神戸市備蓄計画の策定と備蓄物資の適切な維持管理
新たなテクノロジーの活用 と災害用リソースの確保	<ol style="list-style-type: none">13. 防災行政無線の高度化、防災・減災の先進事例等の調査・導入検討14. ドローン等の効果的な活用15. 新たな資機材の導入

1. 職員参集・動員及び避難情報にかかる諸制度の見直し

緑：令和7年度までに実施
青：令和8年度から新たに着手
黒：検討を継続

○総点検をふまえた課題

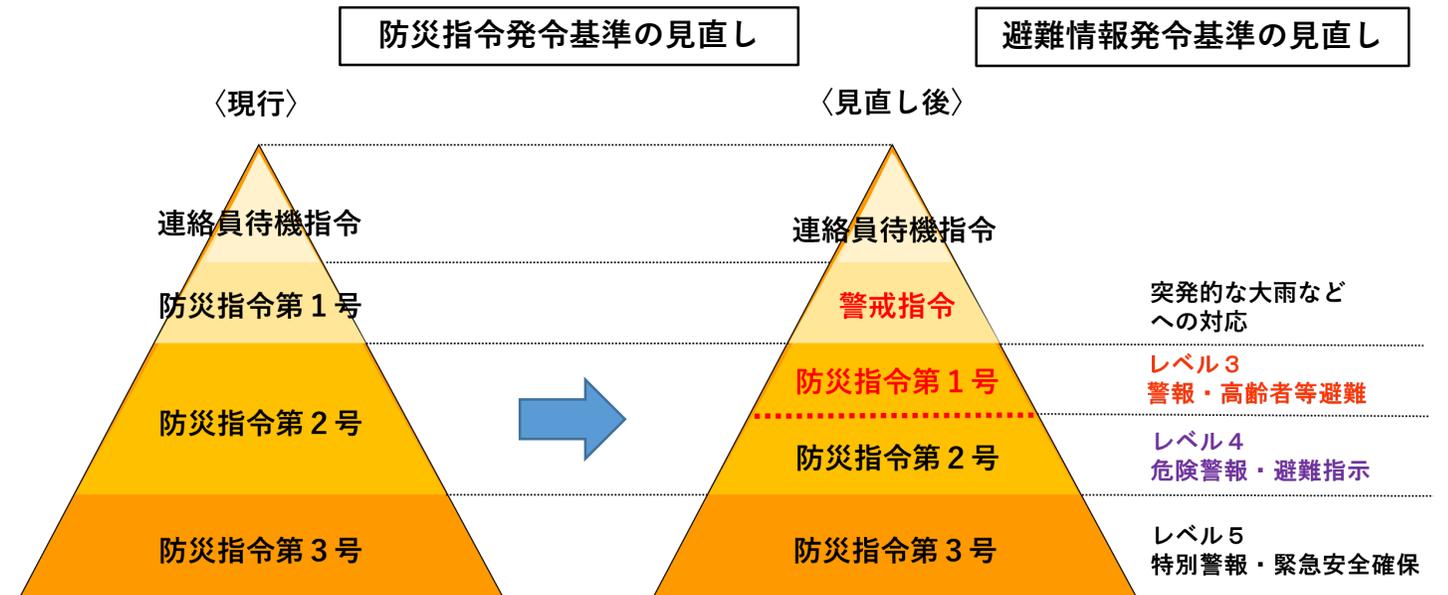
- ・ 防災気象情報の見直しへの対応
- ・ 災害の種類や規模に応じた職員の配備

- 神戸市における気象警報等の行政区単位での発表
(令和8年3月17日～運用開始)
- 全国的な防災気象情報の見直し
(令和8年5月下旬～運用開始)

○取り組み内容

①防災指令および避難情報発令基準の見直し

- ・ 防災気象情報の見直しに合わせ、災害の規模に応じた区ごとの防災体制の確保など、効率的・効果的な職員配備体制を再構築
- ・ より最適な時期に最適な内容で市民に避難情報を発令できるよう見直しを実施



緑：令和7年度までに実施
青：令和8年度から新たに着手
黒：検討を継続

2. 市職員退職者、外部人材等の効果的な活用

○総点検をふまえた課題

- 災害発生時には、各フェーズに応じて、避難所運営、物資の運搬、家屋被害認定調査、罹災証明書の発行、各種支援金の支給等、膨大な災害関連業務が発生
- 通常業務への対応も含め、人員不足が生じ、ボランティアニーズが多数発生(避難所運営、被災家屋の後片付け、家財道具運搬、通訳等)
- 市外からの応援を待たずに、被災者が即時に必要な支援を受けられる体制づくりが必要

○取り組み内容

①市職員退職者の事前登録制度を創設

- 災害時、市職員(会計年度職員)として採用

②避難所運営専門ボランティアの育成

- 災害対応に関する専門的知見・技術を有する
- 市民ボランティアの育成・登録

③外部人材等の効果的な活用

- 外部からの応援受け入れ計画(災害時における業務ごとの必要人数、優先順位等)の内容具体化
- 人材派遣の活用や業務委託等について民間事業者と災害時の対応について検討

3. 区の防災体制の強化

○総点検をふまえた課題

- 震災を経験した職員の減少
- 区役所を中心とした防災に携わる職員の実践的な災害対応力の強化
- 各区災害対策本部の機能確保のため、非常用電源の全区役所での確保
- 北神地区における防災力の強化



緑：令和7年度までに実施
青：令和8年度から新たに着手
黒：検討を継続

○取り組み内容

①各区災害対策本部(北神・垂水区)における非常用電源の確保

- 北神区役所、垂水区役所へ設置中

②区災害対策本部の機能強化

- 実践的な演習を通じた防災担当者の養成
- 区災害対策本部運営訓練の実施

③北神消防署の整備

- 災害対応力の強化
- 災害時の避難指示の迅速化

4. 地域防災の取り組みへの効果的な支援

緑：令和7年度までに実施
青：令和8年度から新たに着手
黒：検討を継続

○総点検をふまえた課題

防災福祉コミュニティ

全小学校区域を対象として震災後に結成
様々な地域団体、事業者等により組織

- 構成員の高齢化、担い手不足
- 団体ごとの活動状況や防災意識の差異
- 避難所開設・運営に係る市の関わりや支援不足

○取り組み内容

①防災士資格の取得制度の創設

- 防災福祉コミュニティなどの地域団体から推薦を受けた市民の防災士資格の取得について助成

⇒防災士養成研修の市内実施

- 神戸市内で防災士養成研修を実施する機会を創設するとともに、地域団体からの推薦の要件を廃止

②神戸市防災士登録制度の創設

- 市と市内在住・在勤の防災士間との情報共有・連携を促進
- 講演会を開催し、技術の向上と、集まる機会を創出

5. 避難所の迅速な開設と円滑な運営

緑：令和7年度までに実施
青：令和8年度から新たに着手
黒：検討を継続

○総点検をふまえた課題

- ・ 南海トラフ地震等が夜間・休日に発生するなど、発災後速やかに市職員が避難所開設できない場合、地域において避難所を迅速に開設し、円滑に運営できる仕組みが必要
- ・ 地域コミュニティの希薄化への対応



キーボックスの例



避難所開設キット

○取り組み内容

①避難所開設・運営マニュアルの簡素化と 避難所ごとの開設・運営手順シート作成

- ・ 女性部会でいただいたご意見も踏まえて改定（多様なニーズへの配慮、育児・介護スペースの確保、相談窓口の設置等）
- ・ 避難所環境の平準化を進めるため、必要な作業をまとめた開設・運営手順シートも併せて作成

②避難所キーボックスの導入

- ・ 市立施設(280ヶ所)へ導入

③避難所開設キットの設置

- ・ 市内の全避難所(322ヶ所)に設置

緑：令和7年度までに実施
青：令和8年度から新たに着手
黒：検討を継続

6. 避難所の良好な居住環境等の確保

○総点検をふまえた課題

- 発災当初から避難所における良好な生活環境の確保のため、南海トラフ巨大地震の発災1週間後の最大想定避難者数を目標に整備する。
- 非常用電源の確保（各市立学校等）



間仕切りテント、簡易ベッド

○取り組み内容

①南海トラフ地震を想定した間仕切りテント・簡易ベッドの確保

- 各15,000基

②避難所の蓄電池・発電機の適切な維持管理

- 耐用年数を考慮した更新計画により非常用蓄電池を更新設置
- 市立高等学校へ非常用蓄電池・小型ガス式発電機を新規配置

③温食の提供体制の検討・構築

- キッチンカー派遣、ホテル等との協定など、発災後すみやかに温食が提供できる体制構築の検討

緑：令和7年度までに実施
 青：令和8年度から新たに着手
 黒：検討を継続

7. 避難者情報の効率的な把握と適切な対応

○総点検をふまえた課題

- ・ 避難者情報の管理がアナログで非効率
- ・ 被災者支援に必要な各種情報の連携が不十分
- ・ 新たなテクノロジーを活用した防災DXの推進による災害対応の高度化が必要

○取り組み内容

①避難者受付システムの実証実験

- ・ マイナンバーカード等を活用した実証実験を令和6年度から実施



○取り組み内容

②円滑で迅速な被災者支援に向けたDXの推進

- ・ 発災時の最適な被災者支援のあり方の調査・検討
- ・ 避難者受付システムの導入検討や備蓄管理・配送等のDX化の検討



8. 災害ケースマネジメントの仕組みの構築

緑：令和7年度までに実施
青：令和8年度から新たに着手
黒：検討を継続

○総点検をふまえた課題

- 被災者の主体的な自立、生活再建のプロセスを支援する仕組みである「災害ケースマネジメント」に取り組んでいくことが必要
 - 災害関連死の防止
 - 早期発見・生活再建によるトータルコストの抑制

<従来の手法>

支援メニューを用意し、本人申請に基づき当該支援を個別に提供
個別の状況に対応できず、本来支援が必要な方に届かない恐れ



<災害ケースマネジメント>

- ① 被災者個々の被災状況や生活上の課題等をアウトリーチで把握
- ② 弁護士やNPO等の民間の多様な主体と連携し、支援方針を検討
- ③ 課題解決に向けた継続的な支援（多様な主体による伴走型支援）
- ④ 被災者の自立・生活再建をマネジメント（継続的な支援）

○取り組み内容

① 庁内連携会議の開催

- 危機管理局、福祉局、健康局、こども家庭局
- 災害ケースマネジメントにおける庁内連携体制の構築、外部団体との連携強化に向けた検討

② 外部団体とのネットワーク会議の構築

- 令和7年度より弁護士会や学識経験者等で構成する神戸市災害ケースマネジメント推進会議を開催
(第1回：11月、第2回：3月)
- 参加する関係者を拡大しながら関係者が一体となった災害ケースマネジメントを推進するための連携体制を構築

被災者への保健医療活動から自立・生活再建までをサポート



9. 市保健医療福祉調整本部による迅速かつ効果的な支援

緑：令和7年度までに実施
青：令和8年度から新たに着手
黒：検討を継続

○総点検をふまえた課題

- 大規模災害時の保健医療活動に関する情報の連携・整理、保健医療活動チームの派遣・活動調整等を行う「市保健医療調整本部」を、令和6年度に設置
- 市保健医療調整本部と福祉との連携・効率的な支援体制の構築
- 実効性のある医療救護体制の確保に向けたマニュアルの整備や研修・訓練等の実施



電気自動車から救護所への電力供給



イエローフラッグ

○取り組み内容

①実効性のある医療救護体制の確保

➤救護所開設の円滑化・運営方法の明確化

- 救護所マニュアル（開設・運営）の整備
- 電気自動車を活用した電力供給体制の確保

➤災害時に対応可能な医療機関・薬局の周知

- 令和8年1月よりイエローフラッグの配布開始

➤実践的な訓練の実施

- 救護所設置・運営にかかる訓練
- 市医師会（D-KOMET）の研修・訓練
- 救護所への電力供給にかかる訓練

②保健・医療・福祉の連携強化

- 連携体制・方法等について検討・調整を実施

緑：令和7年度までに実施
青：令和8年度から新たに着手
黒：検討を継続

10. 災害時要援護者の整理と支援の一層の推進

○総点検をふまえた課題

- 災害時要援護者の対象範囲が、他都市と比較して広く、約26万人となっている。(65歳以上単身世帯、75歳以上のみ世帯など)
- 要援護者の情報を要援護者支援団体へ提供する取り組み(共助の取り組み)を進めているが、全市域をカバーするには至っていない。(現在77地区・80団体へ提供)
- 優先作成対象者に対する個別避難計画策定について一層の加速化が必要
- 災害時要援護者に対し、災害に関する情報保障が求められている。

○取り組み内容

①災害時要援護者の適切な支援に向けたあり方の検討

- 有識者会議を令和7年度より開催
(第1回:11月、第2回:2月)
- 災害時要援護者の対象範囲、自助・共助・公助のあり方、要援護者台帳の運用等について検討を行い、災害時における要援護者への適切な支援を実現する。
- 令和8年度、要援護者の対象範囲の見直しに向け、検討を進める。

②スマートフォンを活用した音声ハザードマップの運用・機能拡充

- 音声ハザードマップ「ユニボイス」を、令和6年12月より運用開始
- 洪水ハザードマップについて、本市計画規模の想定区域が表示できるよう、令和7年4月より機能拡充

11. 福祉避難所の機能強化

緑：令和7年度までに実施
青：令和8年度から新たに着手
黒：検討を継続

○総点検をふまえた課題

- 福祉避難所（高齢者施設、地域福祉センター等）が災害時に機能するよう、非常用電源の確保、通信環境の整備を行う必要がある。
- 福祉避難所の開設運営訓練助成が、現行1施設1回限り

<電源確保の状況>

- 基幹福祉避難所（特別養護老人ホーム等）が独自に整備している非常用電源設備は、施設により種類・能力が異なる。
- 福祉避難所である地域福祉センターには、ポータブル電源等の非常用電源は整備していない。



福祉避難所の開設・運営訓練



ポータブル電源

○取り組み内容

①基幹福祉避難所に各施設共通の蓄電能力の高いポータブル電源を配備

- 全21施設に配備完了
- 急速充電用ソーラーパネル附属
- 発災時には被害状況に応じて施設間で流用可能

②福祉避難所（地域福祉センター）に外部給電神戸モデルを順次導入

- 令和7～9年、開設可能性の高い約80施設に導入予定

③基幹福祉避難所との連絡手段確保

- 基幹福祉避難所に衛星通信回線を導入

④福祉避難所開設訓練の継続実施に向けた助成の拡充

- 継続的に開設訓練を実施できるよう隔年での助成を拡充

緑：令和7年度までに実施
青：令和8年度から新たに着手
黒：検討を継続

12. 神戸市備蓄計画の策定と備蓄物資の適切な維持管理

○総点検をふまえた課題

- ・ 南海トラフ地震のような広域災害では、流通備蓄や救援物資が届かないことが想定
- ・ 備蓄物資の保管場所と適切な保管環境の一層の確保が必要

○取り組み内容

①全市備蓄計画の策定

- ・ 南海トラフ地震及び最大規模の直下型地震の被害想定を踏まえた避難者数に対応できる備蓄を確保



➤神戸市における被害想定の詳細化

- ・ 国と兵庫県の南海トラフ地震のシミュレーションを参考に、市域をさらに地域ごとに細分化し、被害状況や避難者数を詳細に検討
 - ・ 各避難所の備蓄数に反映
 - ・ 沿岸部の津波浸水被害状況の精度向上
 - ・ 被害状況を踏まえた配水計画
- など、様々な活用で、災害対応の高度化を図る。



○その後の国の動き

- ・ 防災基本計画の修正(令和7年7月)において、物資の備蓄状況の年1回の公表に関する記載が追記

12. 神戸市備蓄計画の策定と備蓄物資の適切な維持管理

緑：令和7年度までに実施
青：令和8年度から新たに着手
黒：検討を継続

○取り組み内容

②総合備蓄拠点の再編

- 平時における物資の適切な維持管理、発災時における迅速な物資搬出のため、市内14か所の総合備蓄拠点を集約化
- 避難所への物資配送を想定し、緊急輸送道路網を考慮した4か所に拠点を配置
- 令和8年度、しあわせの村に倉庫建設、民間倉庫の借上げ



③現物備蓄の確保

- 南海トラフ地震で想定される避難者数の3日分を想定した数量を確保
- 購入した備蓄物資は、全庁的なローリング体制を構築し、庁内事業等で活用
- 最大規模の直下型地震を想定した避難者数に対応できる数量へと段階的に整備

④備蓄体制の高度化

- 国が取り組む備蓄のDX化の動向を踏まえ、ローリングストックの簡易化や発災時の迅速な搬出など、備蓄管理のDX化を推進

(令和8年1月、内閣府備蓄DX実証実験へ参画)

緑：令和7年度までに実施
青：令和8年度から新たに着手
黒：検討を継続

13. 防災行政無線の高度化、防災・減災の先進事例等の調査・導入検討

○総点検をふまえた課題

- ・ 防災行政無線は、音声が届かぬ、音声未到達地域が存在、設備の老朽化に伴い維持管理費が増大などが課題
- ・ 災害時の保健医療における連携体制の確保や、通信途絶発生対策としての確実なインフラ確保
- ・ AI等デジタル技術の有効活用

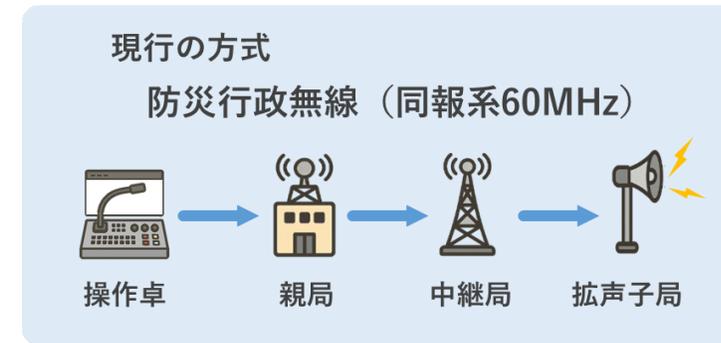


先進事例・新たなテクノロジーを調査・研究し、
神戸市防災の高度化を図る

○取り組み内容

① ICTを活用した新たな防災行政無線システムの調査・設計

- ・ スマホ等への放送内容の伝達（音声・文字情報）
- ・ 維持管理にかかる経費の削減

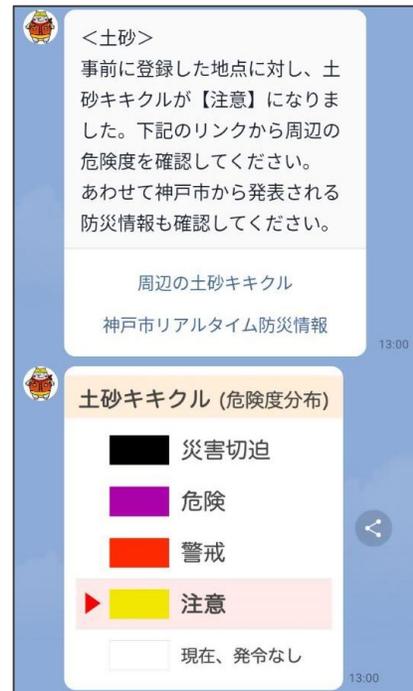
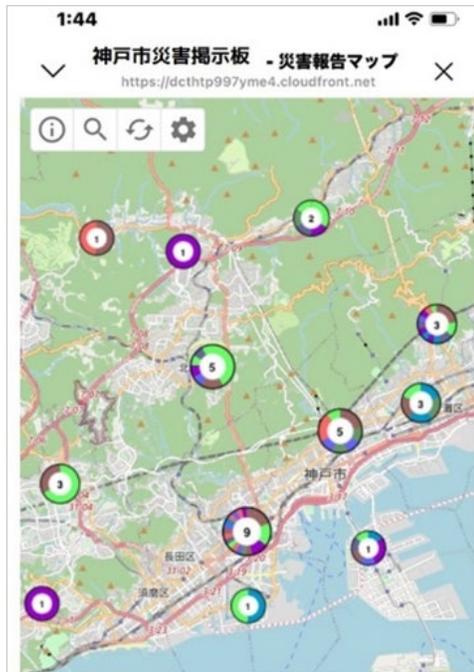


13. 防災行政無線の高度化、防災・減災の先進事例等の調査・導入検討

緑：令和7年度までに実施
青：令和8年度から新たに着手
黒：検討を継続

② LINEによる災害時の情報共有システム「神戸市災害掲示板」の運用

- 令和6年12月より運用開始
- キキクルと連動した通知・検索機能の追加



③ 災害時の保健医療における連絡体制の確保

- 衛星通信回線の導入
本庁及び災害拠点病院・災害対応病院(令和6年度)
各区及び市医師会・市歯科医師会・市薬剤師会(令和7年度)



スターリンク可搬式通信アンテナ



衛星通信(スターリンク)

④ より確実なインフラの確保

- 災害時の通信途絶が発生した場合に備えて、職員間の通信手段の強化を検討

緑：令和7年度までに実施
青：令和8年度から新たに着手
黒：検討を継続

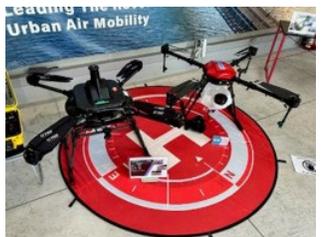
14. ドローンの効果的な活用

○総点検をふまえた課題

- ・ 協定事業者と連携した災害時の運用
- ・ 保有する各局室区が所管業務で各々活用中
消防局：災害時の情報収集、行方不明者の捜索等
建設局・港湾局・環境局：施設等の調査・点検等
企画調整局・北神区役所：広報用の空撮等
- ・ ドローン技術進歩のスピードが速い。



ドローンによる物資輸送



小型化高性能化するドローン



能登での本市派遣職員による空撮写真

○取り組み内容

①災害時の役割分担及び運用ルール等を定めた 庁内ガイドラインの整備

- ・ 令和7年12月より運用開始

②ドローンを活用した実証訓練

- ・ 陸上輸送が困難な地域への物資輸送
- ・ 災害時の避難誘導（帰宅困難者対策等）

③先進事例、技術の調査及び導入検討

- ・ 他都市・企業等の先進事例について調査・検討

緑：令和7年度までに実施
青：令和8年度から新たに着手
黒：検討を継続

15. 新たな資機材の導入

○取り組み内容

①神戸市トイレカーの導入

- ・ 避難所等において良好な生活環境の確保に寄与するトイレカーを令和8年3月に導入予定
- ・ 平時はKOBE里山自然共生センターで活用、その他、市が実施するイベントで利用
- ・ 他都市での災害発生時には、国が運用する「災害対応車両登録制度」により、被災地へ派遣

②民間事業者との協定締結

- ・ 災害対応資機材の活用に関する協定を締結
(キャンピングカー、トイレカー、電動マイクロモビリティなど)



神戸市トイレカー

令和8年度総点検関連予算（新規・拡充）

市の初動・応急体制の強化	34,538千円 （避難所運営専門ボランティアの育成、区災害対策本部の機能強化、北神消防署の整備）
安心・健康に過ごせる 避難所づくり	25,880千円 （防災士育成事業の拡充、担い手のいない地域における避難所開設運営モデル事業、円滑で迅速な被災者支援に向けた防災DXの推進）
被災者支援・要援護者対策の推進	1,320千円 （災害ケースマネジメントにおける外部団体とのネットワーク会議）
備蓄物資の確保と適切な 維持管理	400,000千円 （総合備蓄拠点の再編、現物備蓄の確保、備蓄体制の高度化、神戸市の被害想定の詳細化）
新たなテクノロジーの活用 と災害用リソースの確保	15,800千円 （ICTを活用した新たな防災行政無線システムの調査・設計）

神戸市災害対策総点検のまとめ

【神戸市災害対策総点検】

令和6年能登半島地震で顕在化した初動・応急期の課題に加え、阪神・淡路大震災後の経時的な社会情勢の変動や、テクノロジーの進展等も踏まえて、特に初動・応急期にかかる本市の災害対策について、令和6年度、「神戸市災害対策総点検」を実施した。



総点検の結果を踏まえ、令和6年度より、本市の防災対策の見直しを進め、令和7年度までに一定の成果が得られた。

令和8年度以降は、引き続き取り組んでいくべき施策について、全庁的に検討を進め、本市の防災・減災対策のより一層の充実を図っていく。

令和7年度神戸市地域防災計画・水防計画の修正

■主な修正内容

1. 「神戸市災害対策総点検」を踏まえた修正

(1) 職員配備にかかる制度の見直し

今後予定されている防災気象情報の体系整理等に対応するとともに、より効果的・効率的な防災体制をとることができるよう、防災指令の発令基準等を変更することに関する修正を行う。

(2) 避難所の迅速な開設

防災福祉コミュニティをはじめとする地域団体の構成員や地域住民が、避難所を自主開設できるよう、キーボックス、避難所開設キットの新規設置に関する修正を行う。

(3) 神戸市トイレカーの導入

避難所等における良好な生活環境の確保のため、新たにトイレカーを整備したことに関する修正を行う。

(4) ドローンの活用

災害時において庁内および関係機関と連携し、ドローンの機能的な活用を推進するため「災害時における機能的なドローン利活用に関する庁内ガイドライン（令和7年12月策定）」を定めたことに関する修正を行う。

(5) 民間事業者との連携

災害時における、トイレカー、簡易ベッド、ランタン等の照明器具、防災資機材等の供給のため、新たな民間事業者との協定締結に関する修正を行う。

2. 法改正や国・県の動きを受けた修正

(1) 防災基本計画の修正（令和7年7月）

- ・災害時における、避難生活に必要な物資について、その備蓄状況を、年に1回、広く住民に公表することに関する修正を行う。
- ・岩手県大船渡市林野火災を踏まえた防災基本計画・林野火災編の見直しに伴い、林野火災対策について、抜本的に修正を行う。

(2) 南海トラフ地震防災対策推進基本計画の変更（令和7年7月）

災害対策の基本的な考え方として、「命を守る」対策と「命をつなぐ」対策を明記するとともに、災害関連死について新たに位置付ける。

3. 関係機関の事務に係る修正

上記のほか、地域防災計画に関係する機関（防災会議の委員が属する機関）がその分掌事務について行う防災体制の拡充や時点修正、その他の修正を行う。

4. 協定の締結

- (1) 災害時における月極駐車場の利活用に関する協定
(令和7年2月10日 株式会社ハッチ・ワーク)
- (2) 災害時における簡易ベッド等の物資供給に関する協定
(令和7年2月14日 WAQ株式会社・古河産業株式会社)
- (3) 北神地域の活性化及び安全・安心に関する連携協定書
(令和7年3月25日 神戸市有野更生農業協同組合)
- (4) 緊急時における食糧・物資の安定供給等に関する協定書
(令和7年3月26日 生活協同組合コープこうべ)
- (5) 災害ボランティアセンター設置に関する覚書
(令和7年3月31日 社会福祉法人神戸市北区社会福祉協議会、株式会社 KUL)
- (6) 災害時における協力に関する協定
(令和7年7月1日 一般社団法人全日本冠婚葬祭互助協会)
- (7) 神戸市と損害保険ジャパン株式会社との水災発生時の連携と協力に関する協定書
(令和7年8月5日 損害保険ジャパン株式会社)
- (8) 災害時における生活必需物資等の供給に関する協定
(令和7年8月18日 トラスコ中山株式会社・サクマ商事株式会社)
- (9) 災害時における車両の活用に関する協定書
(令和7年9月1日 オリックス自動車株式会社)
- (10) 災害時等における場所の提供に関する協定
(令和7年9月1日 学校法人玉田学園)
- (11) 災害時における電動マイクロモビリティ等の活用に関する協定書
(令和7年10月16日 株式会社 Luup)

■地区防災計画の地域防災計画への規定（報告）

防災福祉コミュニティ等が作成する防災活動に関する計画について、提出があった際には、防災会議会長の専決処分により、地区防災計画として地域防災計画に規定することとしている。この専決処分を行ったときは、防災会議へ報告が必要なことから、前回の防災会議（令和7年9月29日開催）以降の規定状況について報告する。

【計画修正】

- ・鹿の子台防災福祉コミュニティ地域おたすけガイド（令和7年10月）
- ・道場町地区防災計画（令和7年11月）
- ・御影北小学校区防災計画（令和7年12月）

■目的

- 南海トラフ地震を想定するだけでなく、本市に大きな影響を及ぼす可能性のある活断層による直下型地震も想定した備えが必要
- 海と山に囲まれた地形特性を有し、過去から大きな風水害を経験してきた本市においては、近年激甚化・頻発化する気象災害についても備えが必要
- 本市の地形特性を踏まえたあらゆる自然災害について改めて確認し、どのような災害に対してどのように備え、対応していくべきか、関連する各分野の有識者により幅広く議論して、地域防災計画の見直しなどに反映

■有識者の分野

地震、土砂災害、気象、危機管理などの専門家により8～10名程度で構成

■年3回程度開催